（様式2） 実行計画管理シート

事業名	178	広域連携推進事業	部・課	総合政策部　企画課

総合計画との関係	基本目標等	広域的な連携と地方分権の推進
	施策目標等	32　自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります
	（関連施策目標等）	
	（関連施策目標等）	
	4つの重点的に進める施策との関係	
総合戦略との関係	基本目標	
	施策目標	
市長公約との関係		＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	
	2016(H28)年度市政運営方針	
	2017(H29)年度市政運営方針	
	2018(H30)年度市政運営方針	

事業概要（目的・内容等）	広域的な課題解決に向けて、北河内夜間救急センターの運営や北河内広域リサイクル共同処理など近隣市町村との広域連携を推進するとともに、京田辺市との新たなごみ処理施設の整備など周辺自治体とのさらなる連携・協力を進める。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		これまでの周辺自治体との取り組み内容は以下のとおりである。 ①北河内夜間救急センター協議会（夜間急病患者の診療に関する事務の共同処理） ②淀川左岸水防事務組合（水防事務） ③枚方寝屋川消防組合（消防事務、保安関係事務） ④大阪広域水道企業団（水道用水供給事業・工業用水道事業、水道事業の受託、技術支援に関する事務） ⑤北河内4市リサイクル施設組合（選別・圧縮梱包処理施設の設置・管理運営） ⑥大阪府都市競艇組合（モーターボート競走事業） ⑦大阪府後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療制度事務） ⑧下水処理に関する八幡市との事務委託
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・北河内地域など周辺自治体との広域連携を推進、広域的な課題に係る調査研究 ・新たな広域連携の実施（京田辺市との一部事務組合の設立）
	実績（評価）	・北河内地域など周辺自治体との広域連携に係る課題の調査研究については、平成28年8月に北河内都市連絡会主担者会議に参加するとともに、平成28年7月、平成29年1月に大阪府主催の北河内地域ブロック会議に参加した。 ・新たな広域連携の実施に向けて、新ごみ処理施設に係る京田辺市との一部事務組合の設置するとともに、環境影響評価を実施した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	北河内地域など周辺自治体との広域連携に係る調査研究を深める必要がある。 新たなごみ処理施設の整備については、一部事務組合が主体となるが、広域連携による事業であることから、一部事務組合、京田辺市及び本市の3者が連携し、事業を進めていく必要がある。		
今後の対応	広域連携については、引き続き大阪府、北河内7市を始め、共通の課題を持つ市町村と情報交換及び連絡調整を進めることで課題整理を行い、検討を進めていく。 新ごみ処理施設の整備に向け、平成28年7月に設立した一部事務組合で京田辺市及び本市と連携しながら環境影響評価手続を進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
複数の自治体との取り組み件数	○		8	8	9				9	件
指標の説明										
複数の自治体と共同で行っている取り組み件数			新たな広域連携の取り組みとして、新たなごみ処理施設の平成35年度の稼動に向け、引き続き環境影響評価や地質調査を進めていく。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）